

脳神経外科/2002

脳神経外科医長 相澤 希

診療状況

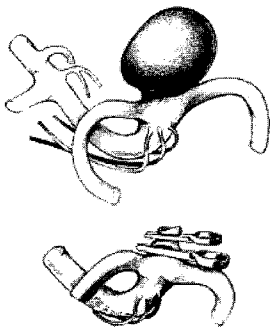
平成12年10月から診療スタッフは同様に佐古和廣副院長、徳光直樹、白井和歌子、相澤 希の4名で行っており2年間は変化ありませんでした。

外来は2診制ではありますが14年11月から担当日を従来とは変更し佐古、相澤、徳光が3枠、白井が木曜日の1枠を担当しております。

平成14年の新規登録患者数は1851名で、昨年の1756名と比較し95名の増加となっておりますが、午後緊急や臨時受診患者さんを積極的に受け入れたための増加と考えられますが、この病院の守備範囲から考えるに年間2000名前後が上限でしょう。

病棟は平成10年から27床となっており、入院患者数は平成10年350、11年が369名、12年が448名、13年が502名、14年が492名となっておりました。本年の減少は10月から脳外科としての入院が減少していたことによるものと考えられますが、検査入院数の減少が原因と判断しております。

疾患別では脳虚血が147 (29.9%)、脳内出血68 (13.8%)、くも膜下出血28 (5.7%)、未破裂脳動脈瘤27 (5.5%)、脳腫瘍19 (3.9%)、頭部外傷89 (18.1%)と脳虚血と検査入院も含めた未破裂脳動脈瘤の入院数が増加したことによるものと考えております。



手術

平成14年の手術件数は162件と昨年比11件増でした。

内容は動脈瘤clipping術46件(内未破裂動脈瘤clipping22件48%)でこのうち脳ドックで発見された例が6件と脳ドックの効果が発揮され始めていると言えます、今後も未破裂動脈瘤の手術件数は増加するものと考えております。

一方腫瘍摘出術は下垂体腺腫も含めて12件と例年と変化ありません。

その他は別表をご参考ください。

総数162件			
脳動脈瘤	48件	脳腫瘍摘出術	12件
clipping	46件	神経膠腫	3件
coiling	2件	髄膜腫	5件
血行再健術	8件	開頭血腫除去術	8件
STA-MCA	1件	定位的血腫吸引術	3件
CEA	4件	微小神経血管減圧術	3件
PTA	3件	慢性硬膜下血腫穿頭術	35件
その他			

昨年より脳ドックが、4月よりオーダーリングが開始され、9月からフル稼働となり目まぐるしい1年間であったように思いますが、オーダーリングが未だ部門により十分に稼働していないように感じられる今日この頃です。

また当科としては脳死判定の基準に達しない臨床的脳死の患者さんのなんと多いことかと感じる今日この頃です。

今後とも皆様のご指導ご鞭撻、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。